

学校の教育目標	考える子 思いやりのある子 たくましい子
---------	----------------------------

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 探究的な学習で課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、それらに関連付けて生かせるようにする。
- 2 実社会や実生活の中から課題を見だし、本やインターネットを活用して適切に情報を集めたり、比較や分類をしたりして、まとめることができるようにする。
- 3 探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、互いのよさを認めながら、地域社会に関わろうとする態度を育てる。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
地域社会において、様々な人々が関わり合い生活していること 情報を比較・分類するなど、探究的な学習の過程に必要な技能	身近な環境や社会に関する基本的な知識 情報を比較・分類・関連付けるなど、探究的な学習の過程に必要な技能
思考力・判断力・表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
問題状況の中から課題を発見し、設定する 情報収集の手段を選択し、収集した情報を分かりやすくまとめる	課題解決を目指して事象を比較したり、関連付けたりして考える 相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現する
学びに向かう力・人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重する	自分の生活の在り方を見直し、夢や希望などをもつ

内容	学習対象	学習事項
第3学年	町づくりや地域の福祉に携わる人々や組織	地域の人々のつながり、町づくりや地域の福祉を支える組織や取組
第4学年	地域の高齢者、障がい者とくらしを支援する仕組みや人々	地域における福祉やバリアフリーの現状の理解 様々な立場の人々が共に生きていくための工夫や取組
第5学年	身近な自然環境とそこで起きている環境問題	身近な自然と自分たちの生活との関わり よりよい自然環境を創造する取組
第6学年	実社会で働く人々の姿と自己の将来	働くことの意味 自分自身のよさへの気付きと将来への展望

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・3年生は地域、4年生は福祉、5年生は環境、6年生は進路を主なテーマとする ・プログラミング学習	・協働的な学習活動の充実 ・各教科、領域との関連を図った指導の工夫 ・思考ツールやプログラミングソフトを用いた学習の工夫	・地域の教育資源の積極的な活用 ・児童の学習集団に応じた指導体制の工夫 ・外部人材の活用	・ポートフォリオを活用した評価 ・個人内評価の重視 ・授業分析による学習指導の評価